

■受験対策ミニ講座 3号■

多様な身体の手が、走る、飛ぶ、投げる、泳ぐ、球技する・・・リオ・パラリンピックは改めて「スポーツ観戦の楽しさ」と「人間の多様性」を教えてくれたように思います。

感動が冷めないうちに“クイズ”をひとつ。<パラリンピックは戦傷病者のリハビリにスポーツがとりいれられたことに始まる・・・正解は○・・・第二次大戦後にロンドンの病院で兵士のリハビリとして洋弓の大会が開かれ、1960年ローマ大会で初めて国際大会として開催。1964年東京大会から「パラリンピック」という愛称が用いられています。>

さて今回の問題は、国際的なソーシャルワーカーの集まりである国際ソーシャルワーカー連盟 IFSW による「ソーシャルワークのグローバル定義」です。2000年「定義」を改変する形で、発表された新定義のキーワードのひとつも「多様性」です。

第3問<<相談援助の基盤と専門職>>—————

〔28回92〕2014年の「ソーシャルワークのグローバル定義」に関する次の記述のうち、適切なもの一つ選べ。

- 1 ウェルビーイングの増進を目指して、人間関係の問題解決を図ることが新たに加えられた。
- 2 ソーシャルワークは、専門職であるとともに政策目標であることが明示された。
- 3 これまで過小評価されてきた地域・民族固有の知を認めるものとなっている。
- 4 先進国の意見や実情を尊重し、マクロレベルの社会政策と社会開発を重視している。
- 5 西洋における集団主義重視への懸念が示された。

—————■Plus Column・・・・・・

【受験対策講座を受けよう！】

いろいろな業者や団体が有料で受験対策講座を開いています。国家試験には独特の形式があり、定番問題や頻出項目もあるため、対策講座に出ると、それなりの効果があります。

当養成所でも、東京と大阪で講座を開催します（格安！）。1日だけの講座ですが、試験の概要や頻出項目、近年の傾向、解き方のコツなどをお伝えします。昨年受講した方からは、「参考になった」「試験勉強のきっかけとなった」「試験に役立った」などの感想をいただいています。まだ、若干のアキがあります。お申し込みはお早めに FAX で。その際、会場名にチェックをお忘れなく！28期生の方も申し込みます。

〔28回92〕の正解と解説—————

「ソーシャルワークのグローバル定義」に関して適切なのは3。

前号で出題の日本社会福祉士の倫理綱領は、IFSWによる新定義の発表を受けて、現在、見直し作業が進められています。「グローバル定義」はとてもホットな話題なのです。

1 ×

ウェルビーイングの増進を目指して人間関係の問題解決を図ることが新たに加えられた。
この内容は従来の定義にあり、今回は定義の「注釈」でのみ触られています。

2 ×

ソーシャルワークは、専門職であるとともに政策目標であることが明示された。
「政策目標」の言葉はなく、新定義は「専門職であり学問である」と定義しています。

3 ○

これまで過小評価されてきた地域・民族固有の知を認めるものとなっている。
「地域・民族固有の知 indigenous knowledge」がキーワード。「先住民の知」が強調され西洋の価値観からの脱却が言われています。

4 ×

先進国の意見や実情を尊重し、マクロレベルの社会政策と社会開発を重視している。
グローバル定義は「先進国」ではなく、「開発途上国の意見や実情を尊重する」としています。

5 ×

西洋における集団主義重視への懸念が示された。
グローバル定義は「西洋における個人主義」への批判から集団主義重視を主張しています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus